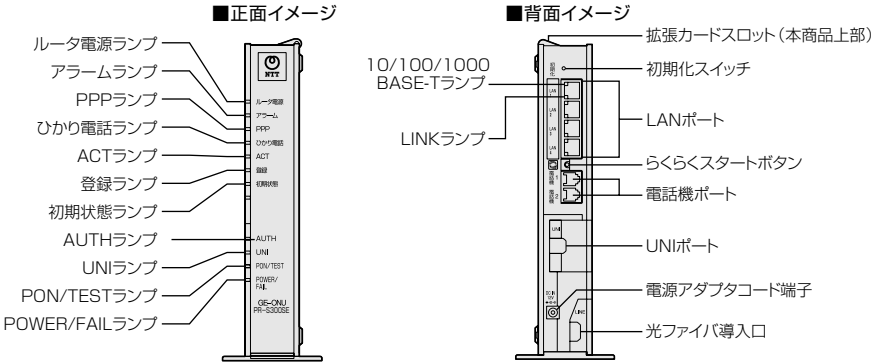


ひかり電話対応機器

ひかり電話対応機器について

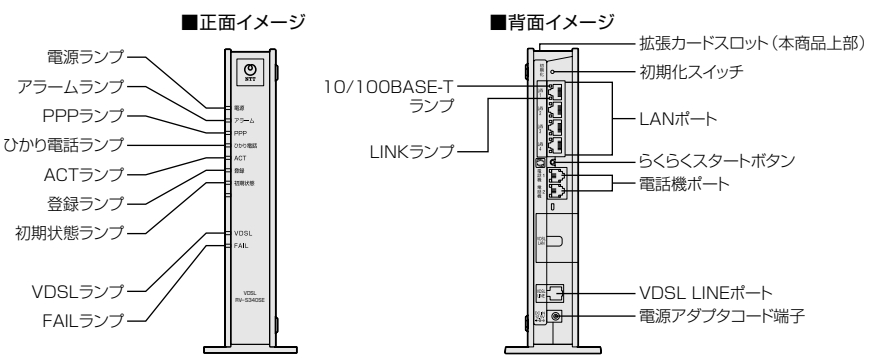
1. ひかり電話対応接続機器 (PR-S300NE/SE) ONU一体型

ひかり電話対応ホームゲートウェイ概要 (PR-S300NE/SE)

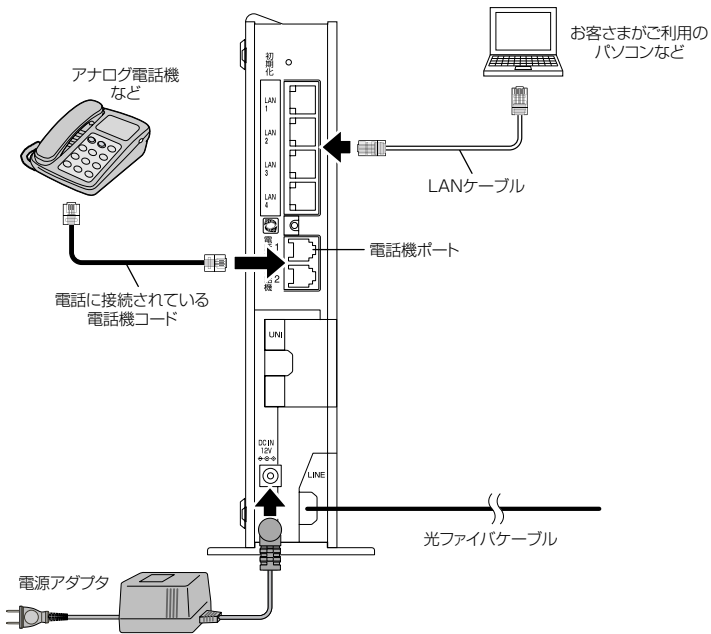


2. ひかり電話対応接続機器 (RV-S340NE/SE) VDSL一体型

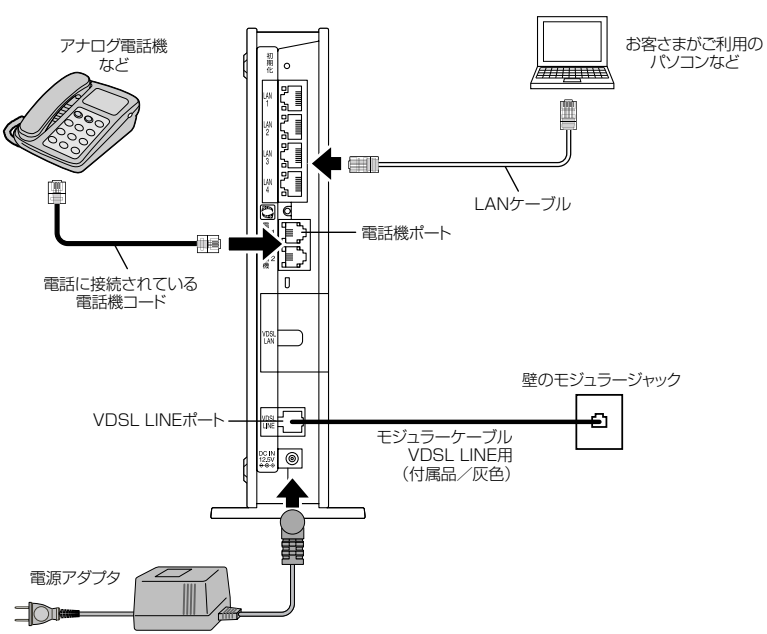
ひかり電話対応ホームゲートウェイ概要 (RV-S340NE/SE)



ひかり電話対応ホームゲートウェイ接続機器 (PR-S300NE/SE) 基本接続例



ひかり電話対応ホームゲートウェイ接続機器 (RV-S340NE/SE) 基本接続例

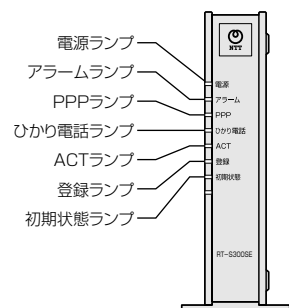


3. ひかり電話対応接続機器 (RT-S300NE/SE)

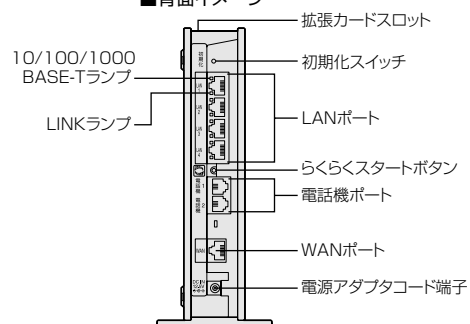
単体型

ひかり電話対応ホームゲートウェイ概要 (RT-S300NE/SE)

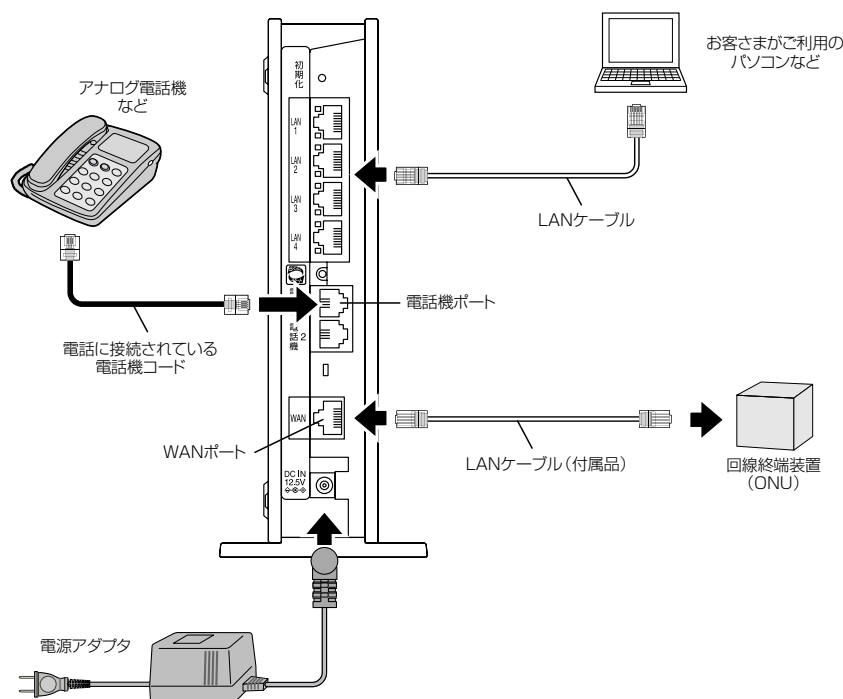
■正面イメージ



■背面イメージ



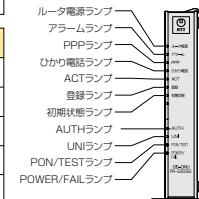
ひかり電話対応ホームゲートウェイ接続機器 (RT-S300NE/SE) 基本接続例



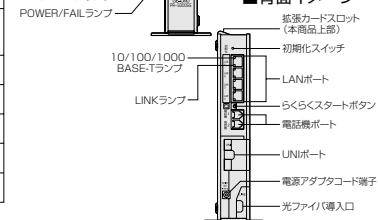
ひかり電話対応機器「PR-S300NE/SE」

機器名		PR-S300NE/SE
項目		ハードウェア仕様
インターフェイス	LAN側	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T ×1 オートネゴシエーション
	WAN側	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T ×1 オートネゴシエーション
	LAN側	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T ×4 オートネゴシエーション
	電話機	アナログ回線×2
	無線拡張	PC Card Standard (CardBus) スロット ※オプションの無線LANカードSC-32NE、SC-32SE、SC-32KI専用
設定方法		Webブラウザによる設定
消費電力		最大27W (電源アダプタ含む)
動作環境		温度: 0~40℃、湿度: 30~85% (結露しないこと)
外形寸法(mm)		約40(W)×175(D)×240(H) mm (突起部を除く)
質量(g)		約0.7kg以下 (電源アダプタ含まず)

■正面イメージ



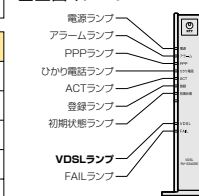
■背面イメージ



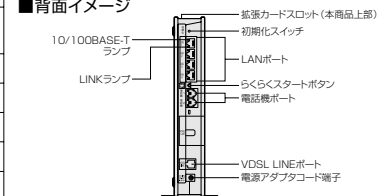
ひかり電話対応機器「RV-S340NE/SE」

機器名		RV-S340NE/SE
項目		ハードウェア仕様
VDSL インタフェース	伝送方式	DMT変調/FDD方式
	LINE側	6ピンモジュラージャック (RJ-11)
	LAN側	100BASE-TX/10BASE-T ×1 オートネゴシエーション
	WAN側	100BASE-TX/10BASE-T ×1 オートネゴシエーション
	LAN側	100BASE-TX/10BASE-T ×4 オートネゴシエーション
インターフェイス	電話機	アナログ回線×2
	無線拡張	PC Card Standard (CardBus) スロット ※オプションの無線LANカードSC-32NE、SC-32SE、SC-32KI専用
設定方法		WebブラウザによるGUI画面
消費電力		最大24W (電源アダプタ含む)
動作環境		温度: 0~40℃、湿度: 20~80% (結露しないこと)
外形寸法(mm)		約40(W)×175(D)×230(H) mm (突起部を除く)
質量(g)		約0.7kg以下 (電源アダプタ含まず)

■正面イメージ



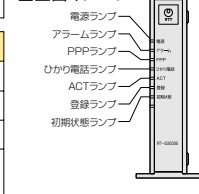
■背面イメージ



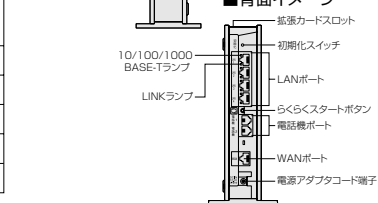
ひかり電話対応機器「RT-S300NE/SE」

機器名		RT-S300NE/SE
項目		ハードウェア仕様
インターフェイス	WAN側	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T ×1 オートネゴシエーション
	LAN側	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T ×4 オートネゴシエーション
	電話機	アナログ回線×2
	無線拡張	PC Card Standard (CardBus) スロット ※オプションの無線LANカードSC-32NE、SC-32SE、SC-32KI専用
	設定方法	Webブラウザによる設定
消費電力		最大15W (電源アダプタ含む)
動作環境		温度: 0~40℃、湿度: 20~85% (結露しないこと)
外形寸法(mm)		約40(W)×175(D)×195(H) mm (突起部を除く)
質量(g)		約0.5kg (電源アダプタ含まず)

■正面イメージ



■背面イメージ



クルリモ (ひかりホームカメラ HC-1000)

●「ひかり電話」と「クルリモ」で安心・便利な見守り

「クルリモ」*1をひかり電話対応機器に接続することで、外出先から携帯電話*2 (FOMA®) を使って、動画で自宅の様子をリアルタイムで見ることができます。

また、遠隔操作でカメラの向きを変えられるので、お部屋の隅々まで見回すことができ、大切なペットの様子を見たり、話しかけたりすることもできて安心です。

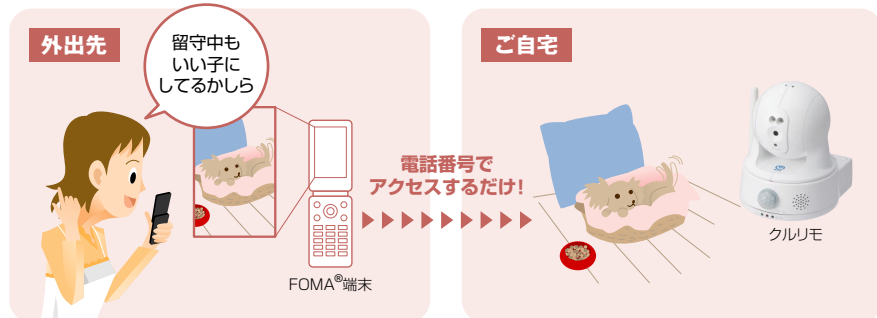
*1：別途、ひかり電話の付加サービス「テレビ電話」のご契約が必要となります。

*2：現在、対応している携帯電話はNTTドコモのFOMA®です。



クルリモ (ひかりホームカメラ HC-1000)
29,400円 (税込)

留守中のお部屋にいるペットの見守り



自宅の様子を遠隔でモニタリング！

NTTドコモのFOMA®から「0AB～J」の電話番号によるテレビ電話発信で簡単に接続ができ、ご自宅の様子をいつでも確認することができます。

Webブラウザでパソコンからもモニタリング！

ルータ等に接続したパソコンのWebブラウザからインターネットを利用して、ご自宅の様子を見ることができます。

クルリモのリモート操作ができる！

カメラのレンズの方向を携帯電話 (FOMA®) を使って遠隔操作。ズーム、上下、左右、マイク/スピーカ音量の調整などができます。



赤外線センサが自動で検知！

クルリモの赤外線センサが作動したら、あらかじめ指定されたメールアドレスや電話番号に自動送信できるよう設定ができます。

★本商品は侵入による犯罪を未然に防止したり、被害を小さくしたり、遠隔監視をするためには有効ですが、侵入による被害を完全に防いだり、家電機器の操作を完全にできるものではありません。万一、本商品の稼働中に人命、財産、ペット等に対する損害が生じてもNTT西日本は一切の責任は負いかねます。

●無線LAN対応

無線LAN対応なので、設置場所を選びません。IEEE802.11a (W52、W53)、IEEE802.11b/gに対応しているので、電波の届く範囲であれば、ご家庭内の様々な場所でご利用いただけます。

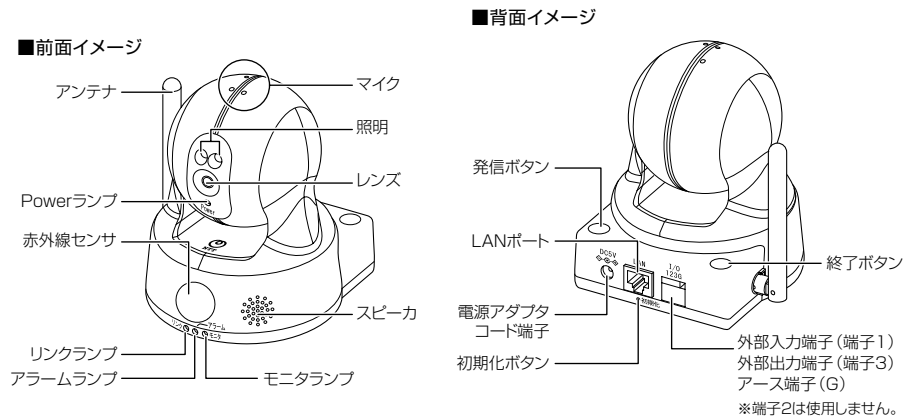
※クルリモを無線LANで利用する場合は、無線LAN対応のひかり電話対応機器と専用の無線カード (1枚) が必要です。



クルリモ (ひかりホームカメラ HC-1000)

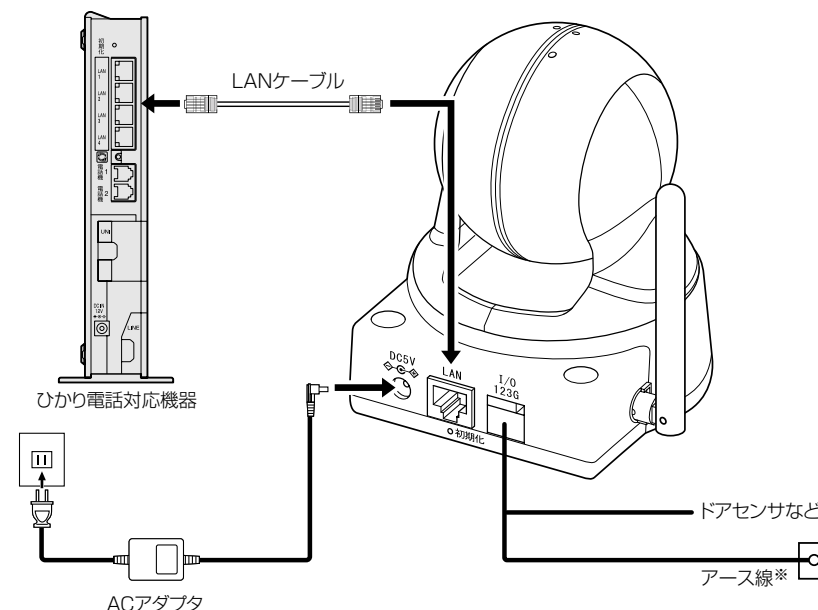
クルリモ (ひかりホームカメラ HC-1000) 概要

★「テレビ電話」に対応



クルリモ (ひかりホームカメラ HC-1000)

基本接続例



※アース線は付属品に含まれておりません。

ひかり電話対応機器の機能について

ひかり電話対応機器のひかり電話に関連する主な機能は以下のとおりです。

機能	概要
端末接続インターフェース	アナログ端末（電話機/FAX等）およびIP端末（電話機/テレビ電話端末）を接続して利用することができます。 ^{※1}
発信電話番号設定	「契約者電話番号」及び「追加電話番号」の中から1つの電話番号を発信電話番号として設定できます。
着信電話番号設定	「契約者電話番号」及び「追加電話番号」の中から複数の電話番号を着信電話番号として設定できます。
一斉鳴動	1電話番号を複数の電話機ポート等に着信番号として設定することにより、複数の電話機等を一斉に鳴動させることができます。
個別鳴動	1電話番号を1つの電話機ポート等に着信番号として設定することにより、電話機等を個別に鳴動させることができます。
着信音鳴り分け ^{※2}	同一の電話機ポートに複数の着信番号を設定している場合は、着信番号ごとに着信音の鳴り分けを行うことができます。
内線転送 ^{※3}	ダイヤル操作でひかり電話対応機器に接続されている電話機等の内線番号を指定することにより、内線転送が行えます。
内線通話	ひかり電話対応機器に接続されている電話機等との間で内線通話ができます。
割込音通知	「複数チャンネル」を契約した場合で1チャンネル通話中に2呼目の着信があった場合、通話中の端末へ割込音（プツプツ…）にて通知させることができます。
優先着信ポート設定機能	2つの電話機ポートに同一の着信電話番号が設定されている場合、優先着信ポートを設定することにより、着信時に優先着信ポートで設定した電話機ポートのみを鳴動させることができます。
指定着信機能	1電話番号について1つの電話機ポートにのみ、指定着信番号を設定することによって特定の電話機等を着信させることができます。 ^{※3}
簡易設定（PBダイヤル）	アナログ電話機からPBダイヤルすることで、本機器についての各種設定が簡単に行えます。

※1 接続可能台数は、最大7台（アナログ端末2台/IP端末5台）となります。なお有線IP端末は4台まで、無線IP端末は5台まで接続可能です。

※2 アナログ電話機がR/SIR（網から端末へ送信する呼出信号）音源を具備している必要があります。IP電話機の場合は、IP電話機の機能に依存します。

※3 高音質通話の状態から通常音声通話への内線転送は行えません。また、通常音声通話の状態から高音質通話への内線転送は行えません。

「追加番号」で契約時のひかり電話対応機器の初期設定について

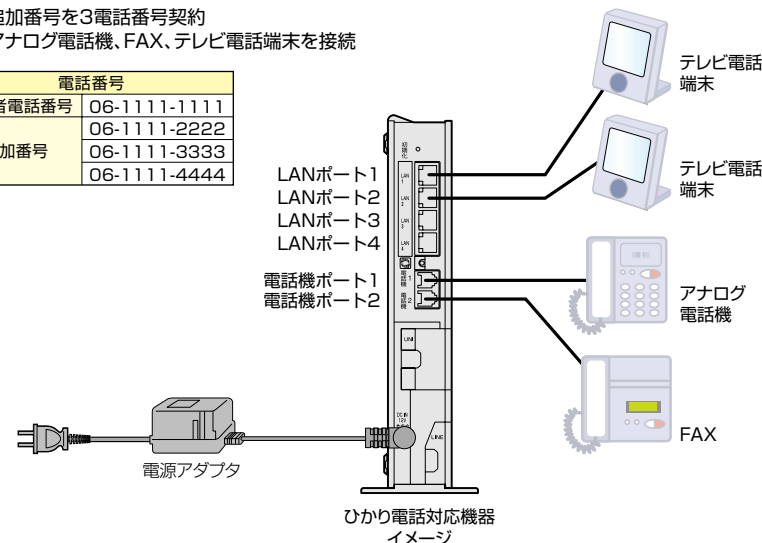
追加番号を契約した場合のひかり電話対応機器の設定状態（初期設定）は以下の通りです。

- ・発信電話番号: 契約者電話番号
- ・着信電話番号: 契約者電話番号および追加番号の全電話番号

◇設定事例

- ・追加番号を3電話番号契約
- ・アナログ電話機、FAX、テレビ電話端末を接続

電話番号	
契約者電話番号	06-1111-1111
	06-1111-2222
追加番号	06-1111-3333
	06-1111-4444



★内線番号、着信番号等の設定についての詳細は、ひかり電話対応機器の取扱説明書を参照してください。

初期設定

ポート	電話機ポート1	電話機ポート2	LANポート1	LANポート2
内線番号	1	2	3	4
着信電話番号	06-1111-1111 06-1111-2222 06-1111-3333 06-1111-4444	06-1111-1111 06-1111-2222 06-1111-3333 06-1111-4444	06-1111-1111 06-1111-2222 06-1111-3333 06-1111-4444	06-1111-1111 06-1111-2222 06-1111-3333 06-1111-4444
発信電話番号	06-1111-1111	06-1111-1111	06-1111-1111	06-1111-1111



設定変更例

接続端末	アナログ電話機	FAX	テレビ電話端末	テレビ電話端末
ポート	電話機ポート1	電話機ポート2	LANポート1	LANポート2
内線番号	1	4	2	3
着信電話番号	06-1111-1111	06-1111-1111 06-1111-2222	06-1111-2222 06-1111-3333	06-1111-4444
発信電話番号	06-1111-1111	06-1111-2222	06-1111-3333	06-1111-4444

★1つの接続ポートに発信電話番号として設定できる電話番号は1つです。また、発信電話番号として設定できるのは、その接続ポートの着信電話番号として設定されている電話番号に限りです。

ホームゲートウェイ「PR-S300NE/SE」 「RV-S340NE/SE」「RT-S300NE/SE」設定方法

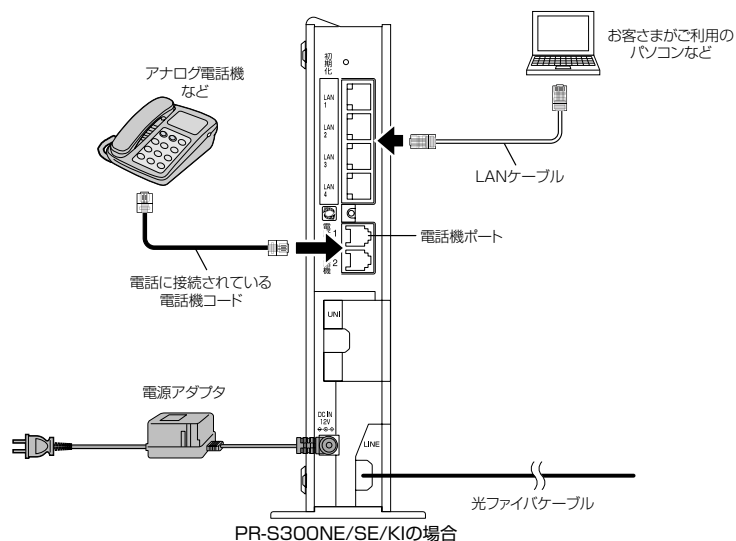
フレッツ 光ネクストをご利用のお客さまがご利用いただく「PR-S300NE/SE」「RV-S340NE/SE」「RT-S300NE/SE」の設定方法を説明します。

※その他のひかり電話対応機器の設定方法については、各取扱説明書をご確認ください。

1. パソコンとの接続

本商品にアクセスするには、パソコンを接続する必要があります。

本商品のLAN ポートとパソコンのLAN ポートをLAN ケーブルで接続します。



2. 設定Web画面の表示

Webブラウザで本商品にアクセスすることで、管理メニューが表示されます。設定の変更や、ご使用中の機器状態の確認ができます。

お知らせ 本商品へアクセスする場合は、パソコンの設定を行ったうえで、Webブラウザからアクセスしてください。

1 Webブラウザを起動します。

2 Webブラウザのアドレス欄に、下記のアドレスを入力し、Enterキーを押します。

<http://ntt.setup/>

お知らせ

ネットワークパスワードの入力画面が表示されます。

★ご使用のWebブラウザやOSのバージョンによって画面表示は異なりますが、入力が必要な項目は同じです。



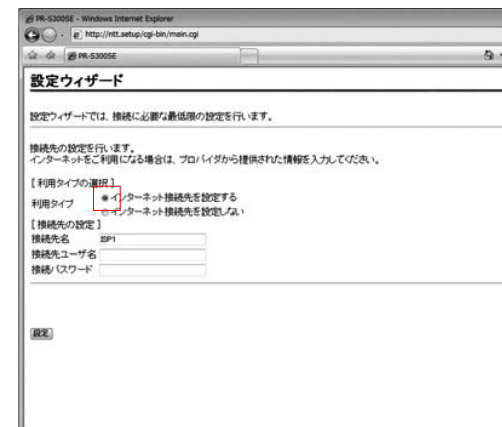
3 パスワードの初期設定をしてください

機器設定用パスワードの初期設定を行い、「設定」をクリックしてください。



画面にしたがって任意の文字列（半角英数字で最大22文字まで）を入力してください。機器設定用パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

4 利用タイプで「インターネット接続先を設定する」を選択してください



★インターネットの接続先を設定しない場合は、「インターネット接続先を設定しない」を選択、「設定」をクリックし、**6**へ進んでください

5 プロバイダ情報にしたがって接続先ユーザ名、接続パスワードを入力し、フレッツ・スクウェアへの接続の設定を選択し、[設定]をクリックしてください



※画面は例です。ご利用の環境により「フレッツ・スクウェア接続」が表示されます。

接続先ユーザ名:
プロバイダの資料にしたがって、接続先ユーザ名を入力します。「接続先ユーザ名」はプロバイダによっては「認証ID」、「ユーザID」のように書かれている場合があります。
例: xxxxx@xxxxx.ne.jp

接続パスワード:
プロバイダの資料にしたがって、接続パスワードを入力します。「接続パスワード」はプロバイダによっては「認証パスワード」、「パスワード」のように書かれている場合があります。
※接続先ユーザ名、接続パスワードに使用できるのは、半角の英数字と記号で最大128文字までです。

フレッツ・スクウェア接続:
フレッツ・スクウェアへの接続をご利用になる場合は「設定する(NTT 東日本)」または「設定する(NTT 西日本)」を、ご利用にならない場合は「設定しない」を選択します。

6 次のユーザー名およびパスワードを半角で入力し、OKをクリックしてください。

- ・ユーザー名:user
- ・パスワード:入力した機器設定用パスワード



お願い 本商品のLAN側IPアドレスやログインのパスワードを忘れた場合は、取扱説明書の「本商品の初期化」等を参照し、初期設定に戻してご使用ください。

7 「Web設定」のトップページが表示されます。



メニューの「電話設定」から「ひかり電話
共通設定」を選択してください。

- お願い**
- ・説明に使用している画面表示は、お使いのWebブラウザやOSバージョンによって異なります。
 - ・お使いのWebブラウザやWebブラウザの設定により、説明されている操作を行った際に、Webブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があります。この場合は、Webブラウザのインターネット一時ファイル(キャッシュ)を削除してから、画面を更新してください。(詳しくは、各Webブラウザのヘルプをご参照ください。)
 - ・回線の状況や設定によっては、設定内容がWebブラウザに表示されるまでに時間がかかる場合があります。
 - ・Webブラウザの(戻る)、(進む)や、(更新)のボタンを使用しないでください。本商品への操作が正しく行われない場合があります。

★その他の機種種のユーザー名とパスワードにつきましては、各端末の取扱説明書をご確認ください。

【ひかり電話共通設定】画面で設定する場合

【ひかり電話共通設定】画面で設定をし、「設定」をクリックしてください



【ひかり電話設定】

① 音声優先モード

インターネットとひかり電話を同時にご使用になっている場合に、音声品質を改善するため音声パケットを優先的に送出する設定をします。

※音声パケットの優先処理に伴い、データ通信速度が低下する場合があります。

- ・「なし」音声優先制御を行いません。
- ・「優先」音声パケットを優先処理します。
- ・「最優先」音声パケットを最優先で処理します。(初期値:なし)

② 優先着信ポート

優先的に着信する電話機ポートを選択します。

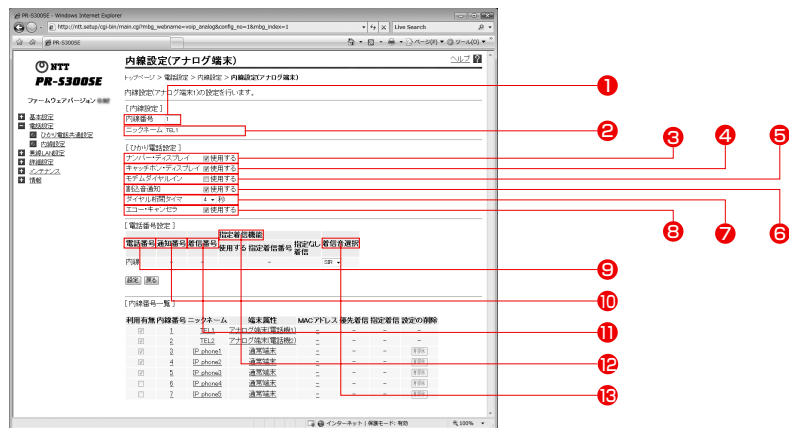
- ・[アナログ端末(電話機1)] 電話機1ポートに接続したアナログ端末を優先的に呼び出します。
- ・[アナログ端末(電話機2)] 電話機2ポートに接続したアナログ端末を優先的に呼び出します。
- ・「無効」優先着信を行いません。(初期値:無効)

※優先着信ポートを設定する場合は[内線設定]画面で次の設定が必要です。

- ・[電話設定] - [内線設定] の [内線番号一覧] で [アナログ端末(電話機1)] と [アナログ端末(電話機2)] の [利用有無] にチェックしてください。
- ・[電話設定] - [内線設定] の [内線番号一覧] で [IP端末1] ~ [IP端末5] の [利用有無] のチェックをすべて外してください。
- ・[電話設定] - [内線設定 (アナログ端末)] の [アナログ端末(電話機1)] と [アナログ端末(電話機2)] で同一の着信番号を1つ以上選択し、[割込音通知] を「使用しない」に設定してください。

【内線設定】画面で設定する場合

【内線設定】画面で設定をし、「設定」をクリックしてください



【内線設定】

- ① 内線番号
内線番号を入力します。「1～9」、「10～99」の1～2桁を設定できます。
※重複した内線番号は設定できません。
(初期値: 下記の表を参照)

- ② ニックネーム
ニックネームを入力します。
任意の名前をキーボードから入力可能な文字で、半角64文字まで入力できます。
(初期値: 下記の表を参照)

＜初期値＞

内線番号	ニックネーム
1	TEL1
2	TEL2

【ひかり電話設定】

- ③ ナンバー・ディスプレイ
ナンバー・ディスプレイを使用する場合にチェックします。
(初期値: 使用する)
※ナンバー・ディスプレイをご契約でない場合やナンバー・ディスプレイに対応していない電話機を接続する場合は「使用する」のチェックを外してください。
- ④ キャッチホン・ディスプレイ
キャッチホン・ディスプレイを使用する場合にチェックします。ナンバー・ディスプレイを「使用する」に設定している場合のみ設定できます。
(初期値: 使用しない)
- ⑤ モデムダイヤルイン
モデムダイヤルインを使用する場合にチェックします。
(初期値: 使用しない)
- ⑥ 割込音通知
複数チャネルでの通話中の電話機や、内線通話中の電話機に、電話がかかってきたことを通知する割込音を使用する場合にチェックします。
(初期値: 使用する)

- ⑦ ダイヤル桁間タイマ
電話機からのダイヤルを受付する間隔を設定します。設定できる値は「4～8」(秒)です。ダイヤル桁間タイマの設定値を長めに設定すると、電話機からダイヤル操作を行った際に発信するまでの時間が長くなります。(初期値: 4秒)

- ⑧ エコー・キャンセラ
エコーやハウリングを防止する機能を使用する場合にチェックします。
(初期値: 使用する)

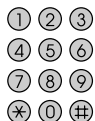
【電話番号設定】

- ⑨ 電話番号
ご契約された電話番号(外線)が表示されます。
- ⑩ 通知番号
発信時、電話をかけた相手先に通知される発信者番号をどの電話番号にするかを選択します。
※[通知番号]に設定した電話番号は[着信番号]に設定されます。
※[通知番号]に設定した電話番号に[指定着信機能]を設定しても相手先に[指定着信番号]は通知されません。
(初期値: 契約者回線番号)
- ⑪ 着信番号
各電話番号あてにかかってきた電話を着信させるかさせないかを設定します。着信番号は複数選択できます。
(初期値: すべての電話番号)
- ⑫ 指定着信機能
指定着信機能を使用する場合は、指定着信機能を使用する電話番号の「使用する」にチェックし、[指定着信番号]に使用する指定着信番号を入力します。
(1～19桁の数字を入力してください。)指定着信番号あり／なしの両方の着信を受ける場合は「指定なし着信」にチェックします。
※指定着信機能は電話機1、2ポートで1つの番号でのみ使用できます。他のポートや電話番号で指定着信機能を使用する場合は、いったん「使用する」のチェックを外してください。
(初期値: 使用しない)
- ⑬ 着信音選択
電話番号ごとに着信音を設定できます。「IR」「SIR」から選択します。
・「IR」
着信音が「1秒あり+2秒なし」を繰り返します。
(「ブルルル、ブルルル…」と鳴動します。)
・「SIR」
着信音が「0.3秒あり+0.3秒なし+0.3秒あり+2.1秒なし」を繰り返します。
(「ブルルッ、ブルルッ…」と鳴動します。)
(初期値: 外線用「IR」、内線用「SIR」)

☆電話機(TEL)ポートに接続したアナログ電話機からダイヤルすることにより、ひかり電話に関する各種設定を行うことができます。

電話機による設定方法

- 電話機のハンドセット(受話器)を取りあげる「ツェ」という発着音が聞こえます。
- プッシュボタンを押して設定する
- 「フブ、フブ、…」という受付音が聞こえたら、ハンドセット(受話器)を置く



電話機から行った設定はすぐに有効になります。

■ひかり電話共通設定

開始操作	機能番号	設定値：設定内容	操作終了
・音声優先モード			
* * * 9 0	* 0 0	* ①：なし * ②：優先 * ③：最優先	# #
・優先着信ポート			
* * * 9 0	* 0 1	* ①：電話機1ポート * ②：電話機2ポート * ③：無効	# #
・ファームウェア			
* * * 1 1			
・ファームウェア更新種別設定			
* * * 8 8	②：自動更新 ⑨：手動更新	* (時刻:00~23) * ②：再起動更新有効 * ③：再起動更新無効	# #

■内線設定

開始操作	ポート番号	機能番号	設定値：設定内容	操作終了
・ナンバー・ディスプレイ				
* * * 9 9	① ②	* 9 1	* ①：使用する * ②：使用しない	# #
・モデムダイヤルイン				
* * * 9 9	① ②	* 9 2	* ①：使用する * ②：使用しない	# #
・割込音通知				
* * * 9 9	① ②	* 9 3	* ①：使用する * ②：使用しない	# #
・着信番号*				
* * * 9 9	① ②	* 9 4	* (着信番号)	# #

開始操作	ポート番号	機能番号	設定値：設定内容	操作終了
・指定着信				
* * * 9 9	① ②	* 9 5	* (着信番号) + * 指定着信番号	# #
・キャッチホン・ディスプレイ*				
* * * 9 9	① ②	* 9 6	* ①：使用する * ②：使用しない	# #
・ダイヤル桁間タイム				
* * * 9 9	① ②	* 9 7	* ④：4秒 * ⑤：5秒 * ⑥：6秒 * ⑦：7秒 * ⑧：8秒	# #
・エコー・キャンセラ				
* * * 9 9	① ②	* 9 8	* ①：使用する * ②：使用しない	# #
・通知番号				
* * * 9 9	① ②	* 0 0	* (通知番号)	# #
・内線番号 ★ (初期値) 電話機1ポート:1、電話機2ポート:2				
* * * 9 9	① ②	* 0 1	* ①：使用する * ②：使用しない	# #
・着信音選択 ★ (初期値) 外線:IR、内線:SIR				
* * * 9 9	① ②	* 0 2	* ①：使用する * ②：使用しない	# #

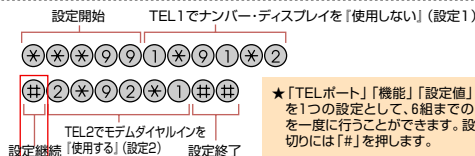
* ナンバー・ディスプレイ機能が「利用する」に設定されている場合に設定可能です。

【設定例】

TEL1ポートの「ナンバー・ディスプレイ」を「使用しない」にする



TEL1ポートの「ナンバー・ディスプレイ」を「使用しない」にし、TEL2ポートの「モデムダイヤルイン」を「使用する」にする



★「TELポート」「機能」「設定値」の組を1つの設定として、6組までの設定を一度に行うことができます。設定区切りには「#」を押します。

注意事項

- IPテレビ電話端末(フレッツフォンVP100/1000/1500)から設定を行うことはできません。
- ダイヤル式の電話機からは設定できません。(プッシュ信号送出機能をもつ電話機のみ設定可能)
- 設定ボタンを押した後に「ピーピー」という高い音が聞こえる場合は、設定内容が誤っています。受話器を置いて設定をやり直す必要があります。
- 6組以上の設定を行った場合や、設定ダイヤルを途中で間違えた場合、すべてのダイヤルが無効になります。
- 通話中や転送・保留操作中の電話機から設定はできません。
- 設定の反映にひかり電話対応機器の再起動は必要ありません。

内線通話のご利用方法

1

電話機のハンドセット（受話器）を
取り上げます。
ハンドセット（受話器）から
「ツー」という発信音が聞こえます。



2

相手の内線番号をダイヤルします。

呼出音が聞こえます。
相手先が通話中だった場合は、
「ツーツーツー」という音が聞こえます。



3

相手の方が出たら、会話をします。

4

会話が終われば、ハンドセット
（受話器）を置きます。



お知らせ

続けてひかり電話や内線をご利用になる場合は、ハンドセット（受話器）を
3秒以上置いたあとにダイヤルしてください。

内線転送のご利用方法

1

通話中、フッキングします。

フックスイッチ（受話器をおくところ）は
下までボン、フックボタンは軽くボンと
押してください。

（フックボタンを「フラッシュ」「@」等と表示している
電話機もあります。）



2

相手の内線番号をダイヤルします。

呼出音が聞こえます。



3

相手の方が出たら、ハンドセット（受話器）を置きます。